

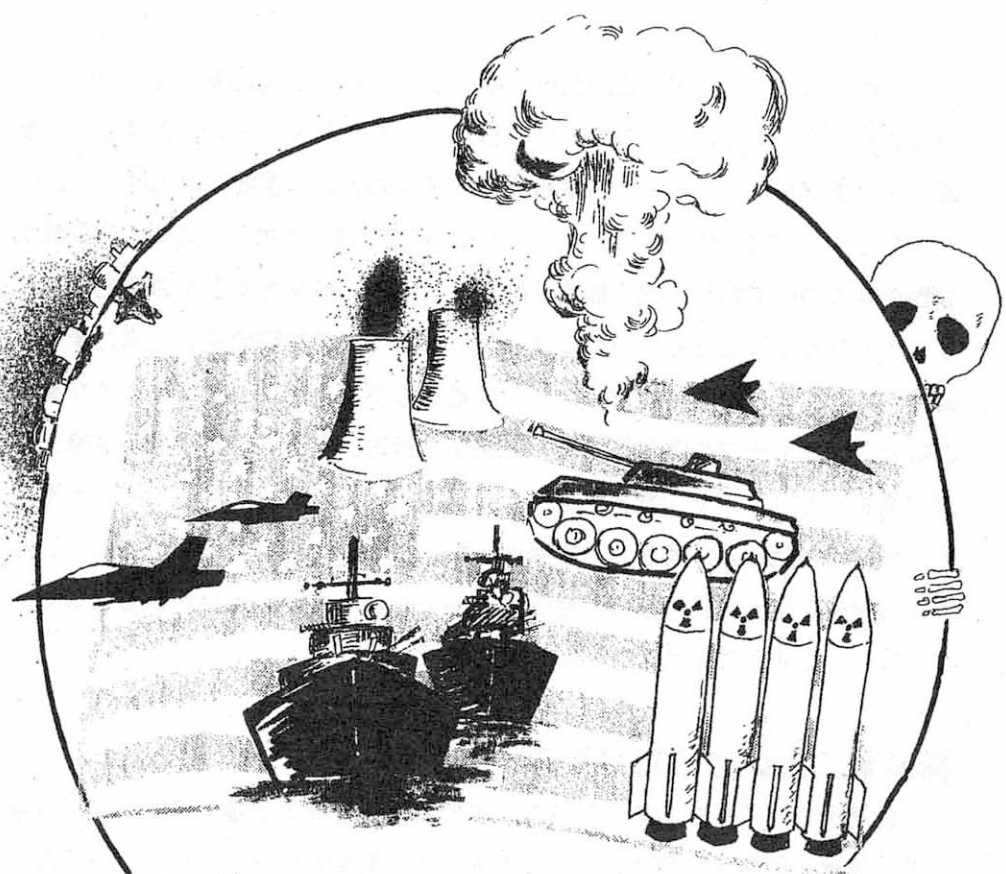
こがねい

2003.5.

第10号

放射能測定室だより

発行：川金井市放射能測定器運営連絡協議会
連絡先：川金井市 緑町 5-19-14-608
(事務局) Tel.Fax 042-385-6650 (江藤)



NO NUKES NO WAR

勉強会

『日本における原子力発電の現状』

に参加して

2003年2月8日
上の原会館にて

講師：東井 怜（あずまい・れい）さん

この一年においても私たち協議会は、またまたいくつかの素晴らしい出会いを持つことができました。 その一つとして、去る2月8日、浜岡原発に近い熱海にお住まいを持ち、原子力発電所をめぐる国内各地の運動に精力的にかかわっておられる 東井 怜 さんにおいでいただき、現地での取り組み、ここ数年の動き等についてお話を聞く機会を持ちました。 盛りだくさんの話題に、エッ?!とびっくりしたり、ワクワクしたり...。 大変内容の濃い、また楽しい時間をすごさせていただきました。 度重なる不祥事やゾッとするような事故の数々、またトラブル隠し等を通し、原子力行政、関係者に対する不信任、不満が高まっていく中で、着実に原子力発電への人々の意識が変わっている事実をこの日のお話により実感として受け止め、各地域において日々活動している方々の様子を伺うにあたって、目の前が明るくなっていく思いが致しました。ここに少しですがご紹介させていただきます。

福島県における取り組み

わが国最大の発電県であり、現在10基の原子炉を有する福島県では、県知事である佐藤栄佐久氏が率先し、国のエネルギー政策を問い、今後の方向を探るという目的で、「福島県エネルギー政策検討会」を設置しました。 検討会では県民の意見を聴く一方でさまざまな立場の学識経験者と意見交換を行い、浮かびあがった疑問点を原子力委員会へ提示していったということです。 この間の経過や成果を整理したものは「中間とりまとめ」として刊行されています。 また検討会はすべて公開で開催され、その内容はだれでも知ることのできるよ

う、随時インターネット等を通じ広く一般に公表されています。過去に「三
県知事提言」として平成8年1月、新潟県知事、福井県知事とともに「改めて
国の明確な責任において国民の合意形成を図ることが重要である」と原子力政
策を根本から見直すよう訴えた経緯がありましたが、その後も事業者がブルマ
ーサルを実施する計画である旨を一方向的に発表する等、立地地域の意向などお
かまいなしの進め方に直面するにあたり、地方自治体である県が自らを主体と
してこのような取り組みに至ったとのこと。今後の福島県の動きにはこれ
からも大いに注目していきたいものです。

浜岡原発周辺地域における取り組み

起こることが予見されている巨大地震としてはまず東海地震が挙げられますが、
その震源になるとされる地域には4機もの原発があり、しかも老朽化していま
す。地震の規模は阪神淡路大震災の10倍と言われ、地震の被害に加えて原
発震災が起これば周辺はおろか日本全体が深刻な影響を受けることになります。
浜岡原発1号機は着工より31年、最も新しい4号機でも13年を経過してい
ます。東海地震が起こると言われる前に建てられたこれらは、相次いで明ら
かになった事故隠しの報道でもわかるように、もう心臓部までがキズだらけに
なっていると考えられます。現在調査の為、停止していますが、せめて地震
が過ぎ去るまで稼働を止めて、放射能災害をくい止めたいという切実な思いか
ら、さまざまな運動が巻き起こっています。

『2003 笑う富士山フェスティバル』へ行きますか？

2003年7月25日より8月25日まで、富士山に世界中から人々が集まり、フ
ェスティバルが開催されます。「東海地震が過ぎるまで浜岡原発を止めてお
こう」を共通項に一ヶ月にわたって多彩なイベント、集いがくりひろげられる
ということです。この夏、富士山へ行ってみませんか？

話してきました！小金井市放射能測定室のこと

高木学校シンポジウム'03.02.01

くらしの中から変える

■『身の周りを取り巻く様々な問題に対して、家族の健康や命への危険を取り除きたい、あるいは少しでも健康的に暮らしたい、あるいは地域の環境を守りたい、などの思いを持ったとき、それをどう行動につなげたらいいでしょうか。この答えを探すため、シンポジウムを企画しました。』との高木学校からの要請に応じてシンポジウムで小金井市における食品の放射能測定活動についてお話してきました。

■他に発表なさったのは『沼南町ダイオキシンを考える会』の加藤和美さん、『杉並病をなくす会』の津谷裕子さん、『練馬母親連絡会』世話人の堤園子さんでした。

■沼南町は1999年の市民による「松葉ダイオキシン調査」で全国ワースト3の値を記録。加藤さんご自身も健康障害を覚え、子どもの健康を守るためにもと、生活クラブ千葉のバックアップを受け、この会を立ち上げたのだそうです。カンパをつのり、黒松の松葉を集め、ダイオキシンを測定しています。2002年の測定結果は01年より悪く、汚染源とは特定されてはいないものの、その焼却排煙に危機感を持ち、廃材処理センターを議員や県職員らと見学したり、操業改善について県に申し入れなどしているそうです。

測定という意味では大いに私たちと通じるものがあり、市民が「データ」を持つことの強みを感じました。

■津谷さんは定年退職後に移り住んだ杉並で環境保護のために活発に

運動していらしたが、ゴミ中継所（プラスチック主体）ができてから、「名状し難い苦しみに襲われる」ようになり、ついには気を失い救急車で運ばれ入院するという事態になりました。それまでも毎日のように区に連絡をとり汚染状況の調査を要求したり、地域住民へのアンケートをとったりしていたそうです。「総理府 公害等調整委員会」は中継所作業に伴う化学物質による被害があったことは認めましたが、現在も続く被害は認めないので、差し止め請求裁判、賠償請求裁判の準備をしているとのことでした。

■ご自身被害を受けているお体で、大変な勉強を重ねられ運動を継続されている姿に感銘を受けました。「忍耐力がないと運動はできない」という、体験に基づく重い言葉と、どれが有害なのか調べ尽くすのは不可能といわれるくらいの化学物質は驚くなかれなんと2700万種もあるという事実が心に残りました。

■堤園子さんはPTA活動を契機に地域の問題に取り組むようになり、環七の歩道橋獲得運動、放射36号道路問題など都市問題に関わったり、教育・福祉・環境などに関する学習と改善のための運動を統一的に捉え活動をなさってきたそうです。「世の中を変えていくためには地域を変えていかなくてはいけない。住民自治が必要」とおっしゃっていました。

■私たち協議会は上の原会館の測定室や測定器・検体などの写真、測定結果一覧・グラフ等を皆さんにご紹介したり、若かりしころ署名運動から始まって現在にいたるまでの活動をおはなしてきました。

とてもうれしかったのは遠く柏市から「柏市放射能測定器運営協議会」の方たちがおみえくださったことです。しかし残念ながらあまり話し合う時間もなく今後の交流を約束してお別れしました。いままで連絡を取り合っていなかったことが不思議にさえ思われます。

■市民運動グループが交流することの意義と、困難さ（高木学校のよびかけで初めて実現したという意味で）を感じた一日でした。

ファイル式冊子

『T家の原子力事故避難マニュアル』 つくりました!



私たちは『コネティカット州原子力発電所非常事態対策ガイド』を翻訳作成した後、“実行性のある原子力防災対策”を探し求めてきました。正直言って答えはみつかりません。また、この地震大国の日本ではみつけれられるはずもありません。しかし、今日も原発が稼働し続けている中で、万が一の時に私たちだったらどうするだろうと考え、悩み、形にしたのがこのマニュアルです。

このマニュアルの基本的な考えは、「とりあえず」、「自分で」、「避難」することです。それぞれどういうことか提示されています。わかりやすく、紛失しにくいようファイル式です。お問い合わせ、ご質問等ご遠慮なくお寄せ下さい。

「小金井市に放射能測定室を作った会」

【2002年度 放射能測定結果一覧表】

(2002年4月～2003年3月)

	測定品目	件数	原産国	測定結果(単位:ベクレル/kg)
乳製品	粉ミルク チーズ他	7		検出されませんでした。
海産物	カニ ワカメ他	3		"
穀類	玄米 アワ オートミール	3		"
	スパゲッティ	3		"
きのこ	ポルチーニ	1	イタリア	34.69
	ポルチーニ	1	イタリア	169.39
	ポルチーニ	1	イタリア	89.81
	ポルチーニ	1	イタリア	32.74
	干し椎茸	1	日本	検出されませんでした。
	生椎茸	1	日本	"
香辛料	ローリエ'86	1	トルコ	378.99
	ローリエ	2		検出されませんでした。
お茶	紅茶 麦茶 マテ茶	3		"
その他	ビーフジャーキー	1		"
	パスタソース	1	アメリカ	"
	リゾット	1	イタリア	"
	水道水	1	日本	"
	オリーブオイル	1	スペイン	"
	ハヤシルウ	1	日本	"
	ワイン	1	スペイン	"
	クッキーミックス	1	日本	"
	ヘーゼルナッツ入り菓子	2		"
	ヘーゼルナッツ入りチョコレート	2		"
	ブラックチョコ	1	フランス	"

合計

41

* 以上のほか保育園、学校給食材29件を測定し、いずれからも放射能は検出されませんでした。

* 2月末～3月パソコン故障のため測定ができませんでした。

☆セシウムチェルノブイリ事故によって大量に放出された放射能です。

過去の核実験により地表に蓄積もされています。分解されるのに時間がかかるので(半分の量になるのに約30年)いったん環境に出てしまうと長く残ります。

☆ヨウ化ナトリウム検出器にて200cc6時間測定しています。

▶ 測定依頼をお寄せください!!

申し込み方法等は [こちら](#) でお知らせしております。

なお、実際に測定にかかりたい方、
 手に協賛会に参加したい方、いつでも募集して
 いますのでご連絡ください。大歓迎です。

お願いします!!

はかってほしい時は

1 市役所経済課に問い合わせの
 申込みをしてください。
 042-387-9831
 (経済課)

2 測定日の指定が
 あります。
 OROB
 に合わせて
 ください

3 指定日の朝9:00に検体(はかりたいもの)を
 市役所経済課に持参し、協賛会測定依頼
 書に記入し、検体と一緒に届けてください。
 (検体は密かにしてください)

4 受付票に
 必要事項を記入

測定中
 6年間判別可能

5 夕方、検体を引き取りに来てください。
 測定結果を記入した測定票をお返しす
 てください

* 370cc以上が不足した場合は別途、
 検体測定料をいただきますので、ご持参
 いただいた検体は返却できません

★ 200ccの容量が必要です。
 (スリッパ等は150cc、生いり汁等は210cc)など
 測定料は、検体によって異なりますので、
 協賛会に問い合わせください。

★ 食品に限ります。

★ 無料です。

